

学校名：学校法人開新学園 熊本工業専門学校

課程名・学科名：職業実践専門課程 自動車整備工学科・半導体工学科

資料名：自己評価結果公表資料

令和7年度自己評価結果

1 令和7年度 熊本工業専門学校 教育重点目標

本校では、急速に変化する時代の流れに対応できる柔軟な思考力を育み、確かな知識と技術に裏付けられた能力を養い、実社会で活用できる力を育てることに重きを置いています。また、個人の成果だけでなく、他者との協力を大切にする姿勢を身につけることを奨励しています。さまざまな背景や価値観を持つ人々との対話や交流を通じ、多様性を受容し、思いやりの心を学生たちに伝えることに力を注いでいます。

国際的な視野を広げ、自ら気づき、考え、積極的に取り組むプロフェッショナルの育成を推進しています。知識と技術を両立させ、倫理的な判断力と積極的な行動力を兼ね備えた人材を社会に送り出すことを使命としています。

2 本年度の重点課題

(1) さらなる学生募集の強化

(ア) 本科学生の確保 (A 科、S 科)

(イ) 留学生の確保 (J 科)

(ウ) 広報活動の強化

(エ) 学生募集につながる体験型オープンキャンパスの実施 (WEB 開催：夏休み)

(2) 各科の特色づくり

(ア) 産学連携による職場実習および出前授業の実施

(イ) インターンシップによる将来のキャリア形成支援の充実

(ウ) 総合自動車整備士資格合格を目的とした座学・実習・補講の強化

(エ) 半導体技術者検定の合格を目指したカリキュラムの強化

(オ) 技術英語導入によるグローバル人材の育成 (S 科：技術英語検定 2 級合格)

(カ) JLPT (N2、N3) 合格に向けてのプログラム強化

(3) 出口(就職先)の開拓とマッチング支援

(ア) 新規の就職先の確保

(イ) 学生の適正に応じた就職指導

(4) 学生との親しい関係性のさらなる強化

(ア) 担任制を取る熊本工業専門学校の良さをさらに深める

(イ) 学生の可能性を引き出す関わりのあり方

(ウ) 多文化理解と共生

(エ) 共に育む教育 (共育) を目指す

3 自己評価結果

自己評価の段階 適切... 4、 ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、 不適切... 1

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1				
ア 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	3.4
イ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1	3.1
ウ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	3	2	1	2.9
エ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4	3	2	1	3.1

① 課題

- 目標は良いのかもしれないが、手段方法が具体的になっていない。
- 学生・保護者・留学生へのアピールの場が乏しい。
- 留学生が大半の学生構成により、学生、保護者への周知徹底に限界がある。
- 実習材料が生徒の人数分無い。
- 実習設備が現代整備工場とかけ離れており一新が必要だと思われる。
- 人材育成に向けた施設設備が充実していない。

② 今後の改善方策

- HP・SNS での発信は必要。
- 集会などによる学生への説明とメール等を利用した保護者への周知徹底を図る。
- 教材を充実させる。企業研修などで最先端の設備を体験・研修する。
- 予算をはっきりさせて、実習設備を充実させていく。
- 購入リスト提案中。
- 改修が必要な設備工具等の洗い出しと購入申請。

③ 特記事項

- 空調設備の完備(夏の気温上昇対策)。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	3.0
イ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1	2.9
ウ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4	3	2	1	3.0
エ 人事、給与に関する規程等は整備・周知されているか	4	3	2	1	2.7
オ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1	2.7
カ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制(法律・倫理遵守)が整備 されているか	4	3	2	1	2.7
キ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	3.0
ク 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	2.7

① 課題

- 教育活動の情報公開をのスピード化。
- 運営方針、対策が具体的ではない。
- 予算がわからない。
- 経営主体が学校法人開新学園開新高等学校にあり、様々な点で意思決定にタイムラグが発生する。また、留学生主体の学校なので文化や生活習慣等の違いによる法律。倫理順守の徹底が難しい。
- 時間外勤務の常態化。
- 学校全体の人員不足が明白で、各部・各科の校務分掌が上手く機能していないように感じる。

② 今後の改善方策

- HP 上での情報公開をより具体的に随時更新。
- 学校経営陣との綿密な連携が必要。
- 各科運営予算の周知。
- 予算を明確にして、事業を行う。
- 職員の増員、増員できないのであれば時間外勤務手当の支給。
- 人員増加もしくは、非常勤講師の常勤化。

③ 特記事項

- なし

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	3.2
イ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	3.1
ウ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	3.1
エ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	3.1
オ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	2.8
カ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	3.2
キ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	3.4
ク 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1	3.1
ケ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	3.1
コ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	2.9
サ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	2.5
シ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	2.5
ス 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1	2.7
セ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	2.6

① 課題

- 教職員研修は各科主体になっているので、組織立てて行う必要がある。
- 研修を受けやすいようにする工夫が無い。
- 現状では日本語教育の内部研修は行っているが外部研修は行っていない。
- 専門分野の職員の確保。
- 慢性的な教員不足に悩まされている。
- 職員の増員。
- 教員不足。
- 教職員が不足している。
- 自動車科では学生人数に対しての国土交通省で決められた人員を2人以上満たしておらず、実習など授業によっては怪我などのリスクが高く。言葉の意味が分かっていない留学生も多く教職員の目が届かないところでの事故を危惧しながら業務を行っている。
- 本校自動車科は日本語授業のカリキュラムが入っておらず、他校との日本語レベルに差がある。
- 自動車科に関しては機材が古すぎて、現代のニーズと乖離していると考えます。

② 今後の改善方策

- 認定校となった後は、日本語教育の研修を計画している。
- 求人広告など。
- 計画的な教員採用計画の立案。
- 積極的な職員募集活動の推進。
- 必要な研修が出来るように、ゆとりを持たせる。
- 職員に対し個人的に、知人等のお願いもしている。
- 計画的に教員を募集採用する。
- 非常勤でもよいので今年度早急に人員の募集・採用をする。
- 自動車科において日本語レベル向上の為に授業時間を確保した方がいいのではないか？
- 新しい機材の導入や、デジタル機材(PC やタブレット)を用いた故障診断などをカリキュラムに取り入れたい。

③ 特記事項

- 本校 OB は自動車業界の取締役を務めている方も多いため、退職者の再雇用状態を伺うなど、職業安定所だけではなく職員の確保も出来る。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	3.1
イ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	2.9
ウ 退学率の低減に向けた指導が行われているか	4	3	2	1	3.2
エ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	2.4
オ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	2.4

① 課題

- 卒業生の社会的活躍の追跡調査が必要。
- 専門課程を卒業後は把握していない。
- 熊工専の同窓会参加率を見る限り卒業後の所在・実績等の確認はできていない。
- 卒業後の就職先までは把握しているが転職の有無までは把握できていない。
- 教員不足により教員の学生との面談時間が制約されている。
- 現在の業界のニーズに対して適した人材を育てられるように日々努めているが、カリキュラムの内容を対応するものに変えたいが、実習車や設備が開校当初(40年以上前)のものもあり、対応に苦慮している。

② 今後の改善方策

- 卒業生への定期連絡や熊工専の情報発信(HP、SNSの活用)。
- 企業訪問時や企業来校時に卒業生の就業状況を確認、資格取得や技術大会出場実績などを確認を行う。

③ 特記事項

- なし

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	3.0
イ 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	2.7
ウ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	2.9
エ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1	2.7
オ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	2.3
カ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	3.0
キ 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	2.7
ク 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	2.2
ケ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	2.5
コ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1	2.4

① 課題

- 学生相談・健康管理に関しては担任に委ねている。
- 留学生がメインの学校で学生の生活、進学等すべてに寄り添うことが困難な状況にある。
- 学生相談・健康管理に専従する人員が居ない(現在は担任のみ)。
- 学生の健康状態に関してはあまり評価できない。毎日コンビニ食、中には昼食をとらない生徒も多いのが現状。

② 今後の改善方策

- 就職・学生相談窓口等を行う部署を設ける(人が足りないか?!)。

③ 特記事項

- なし

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1	2.0
イ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	2.6
ウ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	2.9

① 課題

- 施設の老朽化は否めない。
- 生徒数増加に伴う施設・設備の充実が必要。
- 工場が暗く部品や車両細部が見えづらいことがある。、夏の暑さが開校当初より増しており、工場の冷房設備が扇風機しかない(オープンキャンパスなどで扇風機を持っていかれると、すぐ扇風機も不足)。
- 現代整備では使用しない工具が多い、古い設備、故障している設備が多い。
- 留学生の企業実習が実施できなかった。
- 情報会館の雨漏り。
- 地震避難時のヘルメットを机に用意したいです。

② 今後の改善方策

- 必要な施設・設備を購入する。
- 早急に改修改善が必要。

③ 特記事項

- なし

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1	3.3
イ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	3.3
ウ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	3.3

① 課題

- 留学生の在学に頼り切った学校運営となっている。学生の募集は日本人学生の獲得に重点を傾ける必要がある。
- 実習教材が生徒の人数分無い。
- 学費が安い方がいいことだが、安すぎて教員の給与面や、ここ数年、設備投資ができていない。

② 今後の改善方策

- 募集部の活動を日本人高校生の募集に傾ける必要がある。
- 実習教材が生徒の人数分購入してほしい。
- 学費が安い方がいいことだが、安すぎて教員の給与面や、ここ数年、設備投資ができていない。学費の増額は必要なのかもしれない。

③ 特記事項

- 学生募集の担当部署があるが、長年留学生の募集のみに専念しており、日本人高校生の募集に重きを置いていない。よって、今後は日本人高校生の獲得が最優先されるべきと考える。

(8) 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1	2.4
イ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	2.5
ウ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1	2.7
エ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1	2.7

① 課題

- 本学のみ財務状況は把握できているが学園全体となると不明瞭な点が多い。
- 留学生が半数以上を占めており、今後の各国情勢の変化によって中長期的に人材を確保できるか不安があります。
- 収支を見る術がないためわかりません。
- 各部・各科の財務管理に関しては、今一度管理体制の見直しが必要かと思われます。

② 今後の改善方策

- 財務状況は全く不明です。

③ 特記事項

- なし

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	3.2
イ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1	3.1
ウ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1	3.2
エ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	3.1

① 課題

- 法令の遵守に関しては、休日手当の有無や残業代がないことから不適切とさせていただきます。

② 今後の改善方策

- なし

③ 特記事項

- なし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	2.4
イ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1	2.3
ウ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1	2.2

① 課題

- 日本語科においてはボランティア活動奨励支援は行っていない。
- 地域住民と学校の関係づくりとしてイベントの開催が必要。

② 今後の改善方策

- 学校と地域住民が触れ合える機会を作ることが必要と考えています。

③ 特記事項

- なし

(11) 留学生教育・支援体制

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				
ア 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1	3.3
イ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1	3.5
ウ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1	3.0
エ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1	2.7

① 課題

- ネパールが何らかの理由で激減した場合の不安はある。
- 日本語学校を卒業している学生でも本科で見る限り、日本語力に疑問がある学生が多い。
- 受け入れという点で国外向けに情報発信ができていない。ほかの国からの新規入学が滞っている。

② 今後の改善方策

- 他の国の受け入れについても補える準備をする必要がある。
- 資格取得にも日本語は必要なので、本科でも読み書きの授業や時間を設けたり、同郷の学生同士でも校内での日本語使用の推奨など。
- SNS に卒業生や授業風景、学校の情報を公開し、正解中の人が見覧できるようにすることを可能にする。

③ 特記事項

- なし